

革新的研究開発推進プログラム (ImPACT)

「脳情報の可視化と制御による活力溢れる生活の実現」

産業競争力の強化に向けた脳情報の活用可能性に関するシンポジウム

日時：2014年9月1日(月) 17:00 ~ 19:00 (開場16:45)

場所：TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター3階 ホール3A

<http://tkpichigaya.net/access.shtml>

参加費：無料

→お申し込みは[こちら](#) (参加登録用の外部ウェブサイトへリンクします)

※会場等の都合で、参加をお断りする場合がございますので、予めご了承下さるようお願い致します。

■ご挨拶



ImPACT「脳情報の可視化と制御による活力溢れる生活の実現」プログラムでは、誰もが自分の脳の状態を把握・訓練でき、自分にあった豊かな生活を実現する事を目指しています。この実現に向け、脳科学の産業応用を目指す応用脳科学コンソーシアム(事務局：NTT データ経営研究所)をオープンイノベーションの場としたシンポジウムを開催します。シンポジウムでは、ImPACT プログラムへの参画が想定される機関の代表者等に対し、研究取り組みの可能性を議論し、ImPACT の成果の出口イメージを具体化・共有する事を目的としています。

ImPACT プログラム・マネージャー 山川 義徳

■プログラム

17:00-17:05	開会挨拶 内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当) 付 革新的研究開発推進プログラム (ImPACT) 担当 参事官 河内 幸男
17:05-17:15	ImPACT プログラム 「脳情報の可視化と制御による活力溢れる生活の実現」の紹介 ImPACT プログラム・マネージャー 山川 義徳
17:15-18:05	パネルディスカッション1 「脳ビッグデータの可能性について」 ○コーディネーター 応用脳科学コンソーシアム 事務局長 (NTT データ経営研究所 情報未来研究センター センター長) 萩原 一平 ○パネリスト ImPACT プログラム・マネージャー 山川 義徳 ATR 脳情報通信総合研究所 神経情報学研究室長 神谷 之康 京都大学 経営管理大学院 教授 原 良憲 アラヤ・ブレイン・イメージング CSO 金井 良太
18:05-18:55	パネルディスカッション2 「脳情報インフラ基盤の構築に向けて」 ○コーディネーター ImPACT プログラム・マネージャー 山川 義徳 ○パネリスト 理化学研究所 ライフサイエンス技術基盤研究センター長 渡辺 恭良 京都大学大学院 経済学研究科 教授 依田 高典 大阪大学大学院 医学系研究科 准教授 中江 文
18:55-19:00	閉会挨拶 NTT データ経営研究所 代表取締役社長 佐々木 康志

■本プログラムについてのお問い合わせ先

独立行政法人 科学技術振興機構 革新的研究開発推進室 tel: 03-6380-9012 E-mail: impact-ymk@jst.go.jp